

製品名: DUSP3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86639**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:5000-1:50000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:20 kDa; Observed MW:20 kDa

抗原情報

遺伝子名	DUSP3
別名	VHR
遺伝子ID	1845
SwissProt ID	P51452
免疫原	ヒト DUSP3 の合成ペプチド

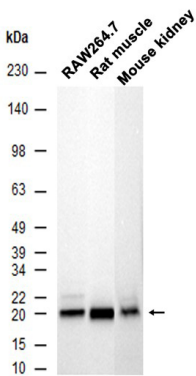
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質ホスファターゼサブファミリーのメンバーです。これらのホ

スファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することにより、標的キナーゼを不活性化します。また、細胞の増殖と分化に関連するマイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼスーパーファミリーのメンバー (MAPK/ERK、SAPK/JNK、p38) を負に制御します。二重特異性ホスファターゼファミリーの異なるメンバーは、様々な MAP キナーゼに対して異なる基質特異性を示し、組織分布と細胞内局在が異なり、細胞外刺激による発現誘導様式も異なります。この遺伝子は、乳がんおよび卵巣がんの感受性を付与する BRCA1 遺伝子座を含む領域にマッピングされます。DUSP3 は乳房組織と卵巣組織の両方で発現しているが、乳がん家系および散発性腫瘍における変異スクリーニングでは陰性であったため、この遺伝子は BRCA1 ではないという結論に至った。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



RAW264.7 細胞およびラット筋肉、マウス腎臓組織からの抽出物を DUSP3 ウサギモノクローナル抗体を使用して 1:2000 でウエスタンブロット分析しました。